



いとひば



ふきあげの子 ○心のあたたかい子 ○考え実践する子 ○体も心もたくましい子

44日間の長い夏休みが無事に終わりました。子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。2学期始業式を迎えられ、保護者の皆様と地域の皆様には、深く感謝申し上げます。

1年の中で最も長い2学期は充実の学期となります。修学旅行や校外学習など、たくさんの行事があり子どもたちは大きく成長していきます。保護者や地域の皆様のお力を借りて、子どもたちがより良い学校生活を送れるよう教職員一同全力で教育活動を行っていきたいと思いますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひします。

★学校行事やお知らせ・各種おたよりをホームページに掲載しています。

ぜひ、ご覧ください

<https://tm2.tcn.ed.jp/fukisho/>



【始業式】9/1（月）

暑さを考慮し、オンラインで始業式を行い、2学期がスタートしました。1学期終業式で伝えた3つの約束を子どもたちはしっかりと守ることができたようです。夏休み期間に様々な経験をしたことで、さらに大きく成長した姿が見られ、嬉しく思います。

始業式では以下のようない話をしました。今学期は特に「しっかりと話を聞き、自ら考えて行動すること」を重視したいと考えています。ぜひご家庭でも子どもたちの話に耳を傾けていただけたらと思います。



【防災の日】9/1（月）

9月1日は防災の日となります。夏休み期間中、猛烈な雨が日本各地を襲い、洪水が頻発しました。また、今まで経験したことのないような猛暑が連日続き、今後も暑さが継続するようです。このような気象の要因の一つとして地球温暖化があげられます。国連も「地球沸騰化」との言葉を用い、警鐘をならしています。平均気温が上昇することにより海水温が高くなり、海水の膨張による海面上昇だけでなく、大気中の水蒸気量がかつてないほど増加しているそうです。そして、そのことによって巨大な台風の発生や経験したことのないような豪雨が今後も頻発することが予想されています。過去の経験だけでは対処できないような豪雨に伴う洪水や地震、災害を身近な事として捉え、発生を想定し、事前に準備をしておくことの必要性がより高まっています。

学校では、社会科をはじめ、様々な教科で防災教育を取り入れています。また、学級活動等で発達段階に応じた学習もしています。防災教育では、「自助」「共助」「公助」の3つが大切になりますが、小学校では、自分の命は自分で守る「自助」ができるようにし、中学校での「共助」の意識につなげていきたいと思っています。2学期以降、様々な想定で避難訓練を行っていきます。お子様と災害への備えについて、次のようなことを確認してみてはいかがでしょうか。



○栃木市が出しているハザードマップ（[栃木市防災ハザードマップ](#)）※上図参照

○災害が起きた際の連絡方法等 ○災害が起きた際に持ち出す非常持出袋 ○避難所と経路 等

【職員研修】夏休み期間中

夏休み期間中に実施した主な職員研修を紹介します。

(下記以外にもたくさんあるのですが、紙面の関係上省略させていただきます。)

普段はまとまった時間がなかなか取れないことから、教育活動の充実を図るために長期休業を利用して、様々な研修を実施しています。授業や児童指導に関する事、サービスや働き方改革に関する事などについて、グループで協議したり講話を聞いたりしました。研修をする際、子どもたちにどんな力を付けたいのかを考えながら協議を進めました。これらの研修の成果は、2学期の教育活動に結び付けていきたいと考えています。

○ 授業力向上に関する研修・検討会(7/22 8/1 8/29)

10月17日に栃木市教育委員会の指導主事を招き、授業力向上のための研究授業を6年生の国語で実施します。そのことも含め、夏休み中に学校全体として研修の機会を設け、授業づくりについて話し合いを進めました。また、本校児童の実態を把握するため、4月に実施した調査結果の分析等も併せて行いました。今後も検討を重ね、児童の実態を踏まえながら、先生方の英知を結集し、日頃からよりよい授業にしていきたいと思います。



○ 吹上ブロック合同研修会(7/31)

吹上公民館で、吹上中・千塚小と合同の研修会を開催しました。栃木市教育委員会の指導主事3名をお招きし、「協働的な学習をめざしたグローバル教育プログラム」という演題の講話と演習を実施しました。概要説明後、3校の先生方がグループに分かれ、どのような内容が子どもたちの学びに有効かなどを熱心に話し合い、模造紙にまとめました。半日の研修でしたが、中身の濃い研修会になりました。



○ スクールカウンセラーによる講話(8/2)

本校では毎月1回程度スクールカウンセラーが来校し、心の相談等を行っています。より専門的な見地から、子どもや保護者との面談を実施しています。

教職員の専門性を高めるため、「行動アセスメントと行動変容」という内容でお話を伺いました。専門的な内容を具体的な場面に置き換えることで分かりやすい説明だったので、子どもたちの様子を思い浮べながら聞くことができました。2学期以降の教育活動に取り入れ、より良い児童理解につなげていきたいと思います。



【調査結果から】

下のグラフは4月に実施したとちぎっ子学習状況調査の質問調査の結果です。家庭に関する項目の中から3点選び掲載しました。家庭内で自己存在感がある一方、決まりを守ることや学習のことについての会話が少ないことが分かりました。(左側が4年生、右側が5年生になります。)

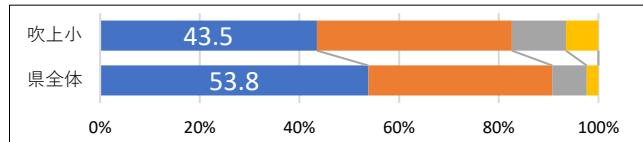
<自分は家族の大切な一員だと思う>



(凡例)

■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえばいいえ ■いいえ

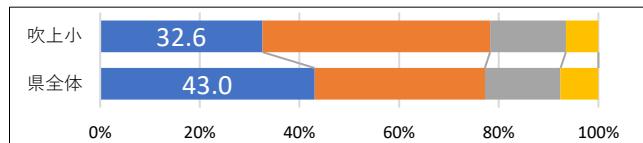
<家でのきまりや約束を守っている。>



(凡例)

■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえばいいえ ■いいえ

<家の人と学習について話をしている。>



(凡例)

■はい ■どちらかといえばはい ■どちらかといえばいいえ ■いいえ

